HITACHI

アプリケーション開発におけるライフサイクル全般で資産の維持管理・有効活用をサポート

ALM*サービス

Application Lifecycle Management Service

＊ ALMは、Application Lifecycle Management の略です

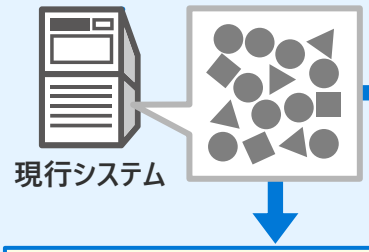
日立のALMサービスがシステム保守の課題を解決します

- エンハンスの繰り返しで不要なコードが多く規模が膨れあがっている
- 設計書がメンテナンスされておらずプログラム仕様がわからない
- たび重なる仕様変更や有識者の異動により業務仕様がわからない
- データベースに格納されているデータのバリエーションがわからない

レガシーシステムの資産をスリム化＆可視化

多くのレガシーシステムでは、保守効率の低下や、新しいシステムへのマイグレーションに踏み切れないといった課題があります。ALMサービスは、エンハンスを繰り返していることで不要になったリソースを抽出し、スリム化します。また、現行資産をもとに設計書や仕様書を生成して可視化します。

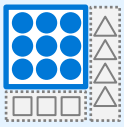
ALMサービスのイメージ



現行システム

スリム化

プログラム資産棚卸
現行システムのプログラム資産と、システムのログ情報などをもとに、業務に必要なプログラム資産を洗い出します。



不要な資産を排除できます。

可視化

プログラム仕様の可視化
現行システムの資産を解析し、可視化情報、関連情報を作成します。
成果物の例： 画面遷移図、CRUD図、ジョブフロー図、呼び出し関連図

業務仕様の可視化
業務レベルの仕様情報を可視化します。
成果物の例： 業務フロー図

データ仕様の可視化
データ仕様を可視化し、分析レポートを提供します。
成果物の例： データバリエーション、ER図、リレーション一覧

各種レポートから現行システムの仕様が明らかになります。

システムの保守効率向上をサポートします

ALMサービスの特長

それぞれのサービスを単独でもご利用できます。

■プログラム資産制御

高精度な棚卸

静的な情報であるプログラム資産に加え、ログや統計情報などの動的な情報をもとにすることで高精度な棚卸が可能です。また、不要プログラムの候補も洗い出します。

■プログラム仕様の可視化

日立のノウハウを集約

豊富な実績から得たノウハウを集約した資産解析技術を用いて、ソースコードなどの現行資産をもとに可視化情報を生成します。

■業務仕様の可視化

システムの使われ方も可視化

可視化したプログラム仕様とお客さまからご提供いただいた各種資料をもとに、業務仕様を可視化します。さらに、システム稼働情報をもとに、システムがどう使われているかレポートできます。

■データ仕様の可視化

最短数日で提供

データベースに格納されているデータをご提供いただければ、最短数日でデータバリエーションや分布といった調査レポートを提供します。

サービス利用メリット

システムのスリム化と可視化は以下のメリットをもたらします。

業務改善

可視化した情報が業務改善につながります

現行資産の可視化に加えてシステム稼働情報を分析・可視化することで、現行業務の課題を洗い出し、業務の改善につなげることができます。

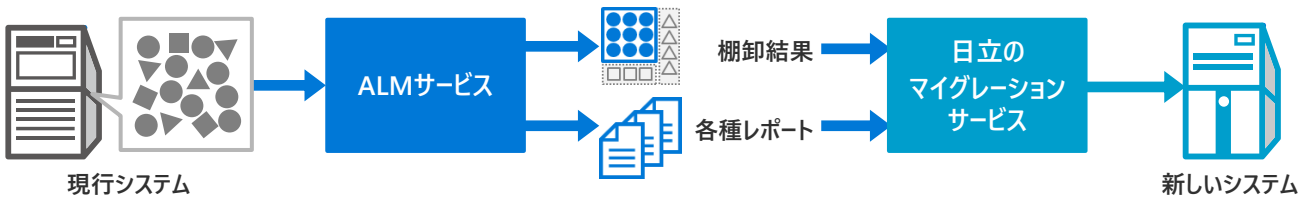
品質確保

プログラム品質の確保につながります

保守対象資産を削減でき、かつ資産の仕様が明確になります。これにより、プログラム改修時における影響調査を正確に実施でき、品質の確保につなげます。

レガシーシステムの再構築をご検討のお客さまへ

レガシーシステムをスリム化と可視化することで、再構築しやすくなります。
日立ではマイグレーションサービスも提供しています。
ALMサービスと連携して、効率よいマイグレーションをサポートします。



導入実績

業種を問わず、小規模から大規模まで多数の実績があります。
10Mステップを超える大規模システムの資産を分析した実績もあります。

サービス費用

対象となるシステムの資産の種類や規模、成果物などにより個別見積もりとなります。
サービスご利用をご検討の場合はお問い合わせください。

●サービスの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社 日立製作所
アプリケーションサービス事業部

お問い合わせは下記へ
■日立エンタープライズ アプリケーションサービス情報サイト
https://www.hitachi.co.jp/appsvdiv/

2025.08